

(報告第1号について事務局及び交通政策分科会長より説明)

(質疑等の要旨)

- 委員：都市計画マスタープランでは臨海部だけでなく内陸部の操業環境の保全についても力を入れていくところですが、内陸部の南北交通についてあまり記載がないが、内陸部の操業環境についてどのように考えているか。
- 事務局：交通政策分科会で臨海部の議論はできているが、内陸部の操業環境について取り立てて議論を行っているわけではない。今後、その必要性も含めて、議論は続けたい。
- 委員：事業の結果が大切であるため、国や県と協力しながら安全安心できれいな環境を整備するため優先順位をつけて取り組んでいただきたい。きれいな道路の場合はきれいにしたいという気持ちになる。
- 事務局：今回の計画では、重点的に進める考え方が見えるよう、優先順位をつけながら進めていくことも意識している。
- 委員：1-35 から 1-40 の今後の取組について記載しているが、実施する取組を記載していると考えていいか。
- 事務局：ご指摘いただいた実施プログラムの部分は、優先順位も考慮して、どの時期に実施するかを記載している。
- 委員：総合交通計画が様々なまちづくりの観点から網羅されている。南部地域は物流に課題があることと独居高齢者の増加に伴い、交通の重要性が増すと思うので、より完成度が高いものを策定していただきたい。
- 委員：1-1 について、運転士不足の高齢化という交通サービスのあり方の検討と記載があるが、運転士不足や高齢化を踏まえた路線バスの増便等について、公共交通のあり方を検討し、新たな公共交通の取組を進めていければ良いと感じる。
- 事務局：公共交通やタクシーにおいて、担い手の高齢化に伴い、担い手が不足しているため、便数を増やすことは非常に難しい。国の方針でもあらゆる交通サービスを総動員することも謳われている中、介護事業者の送迎バスや企業の従業員送迎バスとの連携も含めて、これからの交通を検討していく必要がある。
- 委員：福祉の観点から移動に支援が必要な方に対する記載も少ないので、検討していただきたい。
- 委員：盲目の利用者は、公共交通機関を使用するのが難しい。障害者や子育て中の方が利用しやすい環境を盛り込んでいただきたい。
- 事務局：日常生活の中で交通と関わる機会やどういう立場の人が利用しているのかが分かるような記載方法を工夫していきたいと考えている。
- 委員：観光資源や交通アクセスの向上について記載されているが、観光についてはどのように考えているか。交通を検討する中で、観光資源の情報を提示する方が効果的になるのではないかと。

事務局：資料編で具体的な観光資源の資料を掲載しようと考えているが、南部地域の観光資源が多くなっている。エリアの分布も意識しながら記載していきたいが、本計画では観光資源そのものに対する考え方ではなく、場所と場所をつなぐという観点で記載できればと考えている。

委員：1-35 について、阪急園田駅の整備について、高架下のリニューアルは記載されているが、駅前整備を新しく展開する中で園田駅の名称も記載するべきではないかと考える。

事務局：駅周辺のまちづくりは、現在取り組み中の場合は可能な限り記載したいと考えている。阪急園田駅についても記載する。

以 上